

ザイール

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	170,651	88	23,306	8	29,441	10	33,889	11	30,572	9	19,424	6	307,283	132
専 門 家	1,389,635	72	342,980	9	386,244	7	277,312	8	179,755	10	105,786	5	2,681,712	111
調 査 団	546,109	98	1,484		2,198		17,862	7	154,168	29	147,664	19	869,485	153
協 力 隊	-		-		-		-		-		-		-	
機 材 供 与	158,457		66,821		18,564		29,410		45,194		43,479		361,925	
そ の 他	12,433		3,577		14,153		11,848		7,034		7,722		56,767	
合 計	2,277,285		438,168		450,600		370,321		416,723		324,075		4,277,172	

(2) 形態別・分野別

形態	分 野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員	132				58	18	3	1	3			33	7	2			5			1	1	307,283	
専 門 家	111				46	39		5				5	1				5	3	6		1	2,681,712	
調 査 団	153			7	89	46	11															869,485	
協 力 隊																							-
機 材 供 与																							361,925
そ の 他																							56,767
合 計																							4,277,172

2. 事業別実績
 [一般の技術協力]
 研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業		工業	商業・貿易	観光	人的資源					科学・文化
44年度	4										4										2,800	
45 "																						
46 "	19				17						2											24,185
47 "	1						1															1,173
48 "	11				9						2											20,999
49 "	8				6						2											16,520
50 "	3				1						2											7,056
51 "	8				1	3					4											16,711
52 "	10				2	3	1				4											23,860
53 "	6				2	1					2									1		12,650
54 "	10				2	3	1				3						1					24,021
55 "	8				1	3					3						1					20,676
56 "	8				3	1					2	1	1									23,306
57 "	10				3	1					2	2	1				1					29,441
58 "	11				3	2					1	2								1		35,889
59 "	9				3	1			1	1		1					2					30,572
60 "	6				5						1											19,424
合計	132				58	18	3		1	3		33	7	2			5			1	1	307,283

専門家派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
43年度	1				1																	987
44 "	2				2																	5,782
45 "																						9,952
46 "	2				2																	22,903
47 "	2				1																1	22,179
48 "	8				6	2																42,744
49 "	7				4							3										90,575
50 "	(2) 4					4	(2)															125,591
51 "	7					4											3					171,842
52 "	5					5																171,136
53 "	11				2	8							1									149,588
54 "	9					8											1					295,804
55 "	9					8						1										360,776
56 "	9				8							1										377,049
57 "	7				7																	392,281
58 "	8				8																	282,165
59 "	4				3												1					180,954
60 "	5				2													3				117,824
合 計	(2)100				46	39	(2)					5	1					5	3		1	2,820,112

(注) カッコは国際機関専門家以外数である。

ザ
イ
ー
ル

〔一般の技術協力に係る機材供与〕
単独機材供与事業

ザ
イ
ー
ル

№	機 材 名	機 材 供 与 先	年度	機材供与経費 (千円)
1	視聴覚機材	ルブンバシ鉱山技術学校	44	3,613
2	地球物理機材	中央アフリカ科学研究所	48	8,000
3	地震観測機材	科学技術研究所	52	13,055
4	鉄道建設用機材	運輸省バナナ・キンジャサ施設機関	53	17,064
5	鉄道建設用機材	運 輸 省	55	1,548
6	鉄道建設用機材	運 輸 省	56	9,826
7	地震観測用機材	国立科学研究所	56	21,969
8	職業訓練用機材	職業訓練校	57	12,527
	(同上58年度支出分)		58	9,327
9	橋梁建設用機材	運輸通信省	58	5,774
10	職業訓練用機材	国立職業訓練学校	59	38,106
11	地球物理学用機材部品	国立科学研究所	59	207
12	橋梁建設用機材	運輸通信省	59	37
13	地震工学用機材	集団研修コース	59	4,732
14	職業訓練用機材	国立職業訓練学校	60	31,444
計	14 件			177,229

〔プロジェクト方式技術協力〕
保健医療協力事業(大学教授)

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
技術協力		59					継 続	新 規			
ウィルス学, 病理学, 医動物学	世界一般参照。経費折半。 (ザイール, スイス)	59				Ⓢ (22)	-	(4)	(5,034)		

保健医療協力事業(単発)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
病理学, 公衆衛生, ウ イルス学		59		⊕ 61			-	5	611		672	

ザ
イ
ール

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

№	プロジェクト名	概要	年 度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	鉄道舟航改良計画調査	キンシャサ〜ボールフランキー間の河川輸送の改善と新線建設のための予備調査, 内陸水運に関する調査, 鉄道の現状調査, 新線建設計画の調査。	42	投	42. 9.29 ~ 42.11.19	10	18,207
2	輸送力増強計画調査	西海岸バナナ〜マタディ間約150kmの鉄道建設計画とザイール河渡河方法の調査。	46	事前調査	46. 6. 9 ~ 46. 6.29	5	5,735
			47	実施調査	46.11.28 ~ 47. 1. 6	14	40,052
			47	報告書説明	47. 9.26 ~ 47.10.10	5	7,139
3	放送センター建設計画調査	放送事業拡張計画の一環として, 放送センター建設計画の構想及びフィジビリティ調査の必要性ならびにその調査事項についての検討等事前調査。建築関係, 演奏所関係, カラー化対策検討。放送センターの総合的機能に関するフィジビリティ調査。	47	事前調査	47.10.25 ~ 47.11. 7	4	1,227
			48	実施調査	48.10.23 ~ 48.11.28	7	24,248
			49	実施調査		0	2,665
4	マタディ橋梁建設計画調査	ザイール政府の要請に基づき, 同国が計画中のバナナ〜マタディ鉄道建設計画のうちザイール河を渡る, 鉄道・道路併用を目的としたマタディ橋梁建設に関する技術的・経済的フィジビリティ調査を行うもので, 昭和52年度は建設基準の確認, 必要諸資料の有無確認と一部収集, 及び本調査に係るS/Wの協議の後, 橋梁設計に必要な基礎岩盤の調査, ならびに地形の確認のためのボーリング及び測量を実施した。 昭和53年度は, 昭和52年度に行った本格調査の結果を取りまとめ, 報告書説明を行った。	52	実施調査	52.10.19 ~ 52.11. 8	7	67,701
			52	実施調査	52.12.23 ~ 53. 3.31	4	
			53	報告書説明	53. 6. 9 ~ 53. 6.22	4	
5	ザイール開発調査コンタクト・ミッション	マタディ橋の完成に伴うポスト・マタディ案件として, キンシャサ市およびキンシャサ市と大西洋岸の港であるバナナまでの間の交通体系を整備するためのマスタープランを作成することについて, ザイール共和国側と協議を行うため昭和58年11月にコンタクト・ミッションを派遣した。	58	事前調査	58.11.10 ~ 58.11.26	7	13,810

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
6	無償資金協力案件評価 調査	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (ザイール, ザンビア, ケニア, タンザニア)	58	援助評価	58.10.30 ~ 58.11.15	(3)	(3,119)
7	キンシャサーバナナ間 交通体系総合調査	マタディ橋の完成に伴うポスト・マタディ案件として、キンシャサー市及びキンシャサー市と大西洋岸の港であるバナナまでの間の交通体系を整備するM/Pを作成するため、昭和59年度は12月に本格調査団を派遣し、現地調査を実施した。 昭和60年度は最終報告書(案)を作成提出した。	59	事前調査	59.6.18 ~ 59.6.30	6	10,430
			〃	実施調査	59.12.3 ~ 60.3.16	5	
			〃	〃	59.12.10 ~ 59.12.22	4	111,568
			〃	〃	60.1.14 ~ 60.3.23	7	
			60	〃	60.5.27 ~ 60.6.29	3	
		60.9.1 ~ 60.11.4	7	141,116			
		61.2.14 ~ 61.3.1	9				
8	ムバンザヌグング市飲 料水供給整備計画	ムバンザヌグング市の生活用水を確保するため深井戸を水源とした飲料水供給施設の整備にかかる基本設計調査を実施した。	59	特	59.5.21 ~ 59.6.23	7	30,801

海外開発計画調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	中小規模工業経済協力 調査	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (ザイール, ザンビア)	45	海	46.2.20 ~ 46.3.24	(8)	(3,011)
2	鉱工業プロジェクト選 定確認調査	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (ガーナ, 象牙海岸, リベリア, ナイジェリア, ザイール)	49	海	49.11.15 ~ 49.12.2	(2)	(486)

〔無償資金協力〕

無償資金協力事業

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金 額 (億円)	調査 年度	調 査 種 類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	輸送力増強計画	農産物等の輸送体制を整備するために必要な輸送車両の供与	53.10.25	5	54	実 施 促 進	54.9.13 ~ 9.24	2	

ザ
イ
ール

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
2	社会福祉事業拡充計画	貧困層・病人等を対象とした繊維品及び魚かん詰の供与	53.11.27	5					
3	道路整備計画	シャバ州の道路保守・整備に必要な機材の供与	54.11.22	8	54	実施促進	54.9.13～9.24	2	
					〃	〃	54.11.17～12.2	2	
4	農業輸送力増強計画	都市と農村を結ぶ輸送手段増強に必要な機材の供与	55.9.6	10	55	実施促進	55.7.4～7.18	(2)	(1,449)
5	農業機械整備計画	農業開発の推進に必要な機材の供与	57.3.9	5					
6	市街地道路整備計画	5都市における道路網の整備・道路の修復に必要な道路建設用機材の供与	58.3.11	7	57	実施促進	58.3.1～3.21	(2)	(1,177)
7	道路整備計画	リャバ州・カサイ州地域の道路整備に必要な機材の供与	58.12.7	7					
8	ムバンザヌググ飲料水供給計画	水道施設の建設	59.12.19	9.5	59	基本設計	59.5.21～6.23	7	開発調査
			60.6.27	5.5					
9	キンシャサ大学病院医療機材整備計画	医療機材、薬品の整備			60	基本設計	61.4.3～4.25	6	3,898
10	食糧増産援助	食糧増産を図るための肥料・農業の供与	60.9.9	5					

〔開発協力方式技術協力〕

投融資審査等調査事業

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	鉱工業投融資審査等調査	中近東、アフリカ一般を参照のこと。 (ケニア、ザイール)	52	投融資審査等調査	53.3.22～53.3.31	(3)	(1,328) (6)
2	ケニア、ザイール投融資審査等調査	中近東、アフリカ一般を参照のこと。 (ケニア、ザイール)	55	投融資審査等調査	55.9.27～55.10.13	(3)	(1,383)

開発協力技術指導
専門家派遣

プロジェクト名	年度	人数	派遣期間	経費実績(千円)	技術指導内容
とうもろこし開発	50	2	50. 5.24 ~ 50. 7.23	1,426	
とうもろこし開発	54	2	55. 3. 8 ~ 55. 6. 7		
とうもろこし開発	55	1	56. 3.28 ~ 56. 9.27	4,123	農業機械
とうもろこし開発	56	(1)	56. 3.28 ~ 56. 9.27	957	農業機械

(注) カッコは継続派遣専門家

〔開発投融資〕

融資承諾 年月	事業名	事業地	本邦事業者	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額				貸付実行額		備考	
					金利(%)	返済期間 (ヶ月)	承諾額 (百万円)	契約年月	契約額 (百万円)	年度		実行額 (百万円)
50.10.30	とうもろこし開発試験事業	ザイール シャバ州		とうもろこし栽培	0.75	20(5)	99.9	51. 1.30	55.5	50	55.5	0.3 不要
								51. 6.25	44.1	51	44.1	昭和57年度完済
51. 9.27	キンセンダ銅鉱石開発事業	ザイール シャバ州		道路	0.75	12(4)	184.8	52. 1.31	184.8	51	84.9	14.7 不要
										52	85.2	昭和57年度完済

ザンビア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累計	
	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研修員	65,853	46	18,209	9	27,255	13	34,849	14	32,852	10	76,885	29	255,903	121
専門家	35,173	5	33,435	5	36,440	7	40,400	9	56,421	6	275,556	22	477,425	54
調査団	163,998	53	79,742	18	42,993	10	48,071	14	336,488	68	353,655	60	1,024,947	223
協力隊	908,920	143	89,203	23	113,223	21	174,271	23	254,852	42	330,679	33	1,871,148	285
機材供与	247,193		15,904		99,138		50,726		156,499		199,195		768,655	
その他	8,217		3,048		4,294		3,354		13,407		25,912		58,232	
合計	1,429,354		239,541		323,343		351,671		850,519		1,261,882		4,456,310	

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人数 累計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 累計 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商業 貿易	観 光	人的 資源	科学 文化				
研修員	121	4	13		13	1	36	3	2		2	4	2		1	3	5		25	6	1	255,903
専門家	54	1					9	4	11		1		3						25			477,425
調査団	223			8	31		21	23	16			35	22	17			18		31		1	1,024,947
協力隊	285	3	3	3	8	12	78	17	34	5	13	1	31				24	7	32		14	1,871,148
機材供与																						768,655
その他																						58,232
合計																						4,456,310

2. 事業別実績
〔一般の技術協力〕
研修員受入事業

ザンビア 分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
43年度	4																4					
44 "	2		1				1															
45 "																						1,327
46 "	1							1														740
47 "	4		4																			6,039
48 "	2				1		1															3,325
49 "	4		1		1		1										1					6,895
50 "																						
51 "	6				1		4									1						9,695
52 "	11		1		1		6							1	2							15,644
53 "	3				1		1				1											4,705
54 "	3	1					1												1			6,569
55 "	6						2												4			10,914
56 "	9	1					2												2	3	1	18,209
57 "	13				1		9												3			27,255
58 "	14	1	2		1		3	1											3	3		34,849
59 "	10	1			1	1	1				1								5			32,852
60 "	29		4		5		4	1	2		1	3	2						7			78,660
合計	121	4	13		13	1	36	3	2		2	4	2		1	3	5		25	6	1	257,678

専門家派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化					
40年度																						29	
41年度																							
42年度																							
43年度																							
44年度																							
45年度																							
46年度																							
47年度																							
48年度																							
49年度																							1,213
50年度																							
51年度																							
52年度																							
53年度	1						1																6,362
54年度																							12,665
55年度																							11,388
56年度	1						1																21,809
57年度	5						5																34,389
58年度	2						1						1										21,522
59年度	2						1						1										54,445
60年度	3							1			1		1										141,837
合計	14						9	1			1		3										305,659

ザンビア

青年海外協力隊派遣事業

分野 ザンビア	年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化					
44年度	6																						3,512	
45 "	6						6																15,046	
46 "	3																					3	18,913	
47 "	12				4		4				2		1									1	26,197	
48 "	10						7		2		1												35,275	
49 "	9						8						1										80,601	
50 "	15					1	4		2	1	1		5									1	114,103	
51 "	13						7			2	2											2	116,019	
52 "	23				1		14		4		1											3	176,388	
53 "	19				3	1	9		1		1		4										180,309	
54 "	20						9		6									4					1	170,395
55 "	7						4		2														1	139,754
56 "	23						3	3	4		1		5					4		2		1	100,362	
57 "	21					4	1		2	2	1		4							7			121,479	
58 "	23	1	1	1		2	2	2	3		1		2					2	2	3		1	196,442	
59 "	42		2			3		7	7			1	6					3	2	11			285,639	
60 "	33	2		2		1		5	1		2		3					5	3	9			369,271	
合計	285	3	3	3	8	12	78	17	34	5	13	1	31					24	7	32		14	2,149,705	

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

№	機材名	機材供与先	年度	機材供与経費 (千円)
1	顕微鏡 (同上42年度支出分)	畜産試験所	41	900
			42	31
2	製材関係機材	農業省	54	12,154
3	畜産研究用機材	農業省	57	18,877

№	機 材 名	機 材 供 与 先	年度	機材供与経費 (千円)
4	農業訓練用機材	国家開発庁	57	5,968
5	水産養殖用機材	農業水資源開発省	58	27,928
6	農業広報車	国家開発庁	59	57,376
計	6 件			123,234

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)		
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)	
							継 続	新 規					
ザンビア大学医学部 協定等の種類：R/D 協力期間： (当初) 55.2.21～ 60.2.20 (延長) 60.2.21～ 62.2.20 国内協力機関： 順天堂大学医学部 日本大学医学部付属 板橋病院	昭和53年6月及び昭和54年3月の2 回にわたりザンビア国に専門家を派遣し、 保健医療事情調査を行った結果、小児病が 深刻な社会問題となっており、この分野の 改善が急務であることが判明した。 このため、わが国は昭和54年6月、ザ ンビア大学医学部の小児外科及び新生児科 部門の強化を図るため、5名からなる事前 調査団を派遣し、この分野における技術協 力の可能性について調査した。 昭和55年1月には、上記事前調査団の プロジェクト方式技術協力の可能性ありと の報告を踏まえ、協力の内容、場所、規模、 期間、双方がとるべき措置、付与される特 権等につきザンビア国関係機関と協議 し、さらに協力の関連事項について調査を 行い、協力の基本方針を策定するとともに	54	事前調査	54.6.10～ 54.6.26	5	12,490		1	1,145		13,633		
		55	実施協議	55.1.29～ 55.2.10	4		821					71,853	72,839
				55	同上 報告書 作成			165					
				56	計画打合 せ	56.10.27～ 56.11.8	3	3 4,816	—	4	11,626	5,374	21,819
				57	同上 報告書 作成			100	—	2	3,400	1,923 63,076	68,499
				58				29	—	7	18,955	2,189	21,175
		59	エバリュ エーション	59.10.27～ 59.11.7	4	5,705	2	2	6,573	1,456 54,571	68,305		
		60	機械修理	61.3.2～ 61.3.17	3	6,842	0	7	21,599	5,261 57,971	91,673		

ザンビア

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)													
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)														
	<p>R/Dとして取り決め、署名交換した。</p> <p>協力内容は、同国ルサカ市の大学教育病院において、医学部教官に対し、(1)新生児管理、(2)小児外科等の教育技術の移転を行うというものである。</p> <p>[カウンターパート受入実績]</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </table>	年度	55	56	57	58	59	60	人数	4	2	3	3	3	5									
年度	55	56	57	58	59	60																		
人数	4	2	3	3	3	5																		

農林業協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
農畜産業技術協力プロジェクト・ファインディング	<p>ザンビア政府からは、家畜衛生および水産養殖の分野の協力要請がなされた。これを受けてわが国は、その詳細および同国の情勢等把握と案件検討のため、昭和56年11月標記調査団を派遣した。その結果、家畜衛生はEECの協力計画があり、また、水産養殖は特に相手国政府の言及がなかった。その他に、二三のステート・ファームに対する協力要請がなされたが、いずれもツエツエ蠅危険地帯にあって、技術協力対象とすることは困難であり、むしろ、食糧の保存、流通及びポストハーベスト等に有効な協力案件があると報告された。</p>	56	事前調査	56.11.18～ 56.12.3	4	⑤ 128 ⑥ 6,130					6,258
		57	(同上 報告書)				⑥ 307				

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
アフリカ農林水産業協 力プロジェクト・ファ インディング	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (ケニア, ザンビア)	57	事前調査	57.10.26～ 57.11.10	(5)	(4,166)					(4,166)
		58				(144)					(144)
ザンビア大学獣医学部 (獣医教育) 協定等の種類: R/D 署名年月日: 60.1.22 協力期間: 60.1.22～ 65.1.21 相手国機関: 文部省 (ザンビア大学) 国内協力機関: 文部省	ザンビアは200万頭の牛を保有する牧畜 国であるが、家畜生産性が低く畜産物を輸 入している。現在獣医師70名と少なく畜 産振興上の阻害要因であるため、獣医師の 養成が急務であり、獣医学部の設置につき 昭和57年協力要請がなされた。昭和61 年2月完成の獣医学部において、獣医病理 学、寄生虫学、微生物学、疾病予防学を中 心とし獣医教育、研究、調査活動の事業を 内容とするR/Dを昭和60年1月締結し 5カ年間の協力が開始された。昭和60年 度は長期専門家7名の派遣、機材供与、研 修員受入、モデルインフラ整備の実施等 を行い本格的活動を開始した。 〔カウンターパート受入実績〕	59	事前調査	59.4.11～ 59.4.28	6	23,161	0	2	5,071		28,232
		60	実施協議	60.1.13～ 60.1.28	5						
		60	計画打合 せ	60.10.20～ 60.11.6	5	9,253	0	12	125,022	車輛, タイプ ライター, 書 籍, 薬品類, 他	4,135 75,410
農林業教育・研究基礎 調査	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (ジンバブエ, ザンビア)	60	開発基礎	60.8.25～ 60.9.15	(5)	(4,957)					(4,957)

ザン
ビア

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

ザンビア

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	テレビ放送網実施設計調査	同国が作成したテレビ放送網拡充計画に基づき実施設計し、作成するための調査。	47	実施調査	48. 2.15 ~ 48. 3.26	7	10,028
			48	実施調査	48.10.18 ~ 48.10.31	3	18,960
2	マイクロウェーブ回線網建設計画調査	同国政府では第2, 第3次国家開発計画の一環として国内の主要都市間を結ぶ国内マイクロウェーブ回線網の整備拡充を推進しているが、その予定ルートを現地踏査しフィービリティ調査を行うものである。昭和55年度は事前調査を行い、国内の10ルートの技術的経済的に最適なシステムを検討しドラフトレポートをとりまとめ同国政府に説明し協議を行った。 昭和56年度は、最終報告書を送付した。	55	事前調査	55.11.26 ~ 55.12.17	5	10,434
			〃	実施調査	56. 2.16 ~ 56. 3.18	6	15,788
			56	実施調査	(報告書作成)	0	16,919
3	小児病院建設計画基本設計調査	ザンビア大学医学部の教育機関であるルサカで唯一の総合病院内に小児病院の建設を計画しているが、そのための調査を実施し基本設計書を作成した。	55	特	55.10.25 ~ 55.11.21	9	46,994
			〃	特(報告)	56. 2.10 ~ 56. 2.21	4	
			56	特	(報告書作成)	0	96
4	漁業振興計画基本設計調査	同国政府は国家経済開発計画の一環として沿岸と河川漁業の開発を促進し、国民の雇用拡大と鮮魚の国内供給の拡大で食生活の改善を図ろうとしている。そのため日本政府に対し内陸部に製氷装置の設置と近代的な小型動力漁船、漁具・漁網、船外機などの無償資金協力を要請してきた。これに応じて昭和56年1月、バンジュール、マンサコンコなどの現地調査と相手国政府との協議を行い、要請内容の検討と評価を行うと共に基本設計を行った。本年度はドラフトにて説明し、その後、報告書を作成した。	55	特	56. 1. 5 ~ 56. 1.15	4	9,911
			56	特	(報告書作成)	0	35
5	ザンビア大学獣医学部建設計画	ザンビア大学に獣医学部を新設し、獣医師の養成を図るための施設建設に係る基本設計調査を実施した。	57	特	57.10.31 ~ 57.11. 7	1	22,482
			〃	特	58. 2. 6 ~ 58. 3. 5	8	
			58	特	58. 5.22 ~ 58. 6. 3	5	25,455
				(報告書説明)			
6	穀物倉庫建設計画	穀物流通の中間損失を防ぐための穀物倉庫建設に係る事前調査を実施した。	57	特	58. 3.20 ~ 58. 4.12	4	4,294
			58	特			3,228
7	ルサカ空港改修計画調査	エアバス等大型ジェット機の就航に対応すべく空港処理能力の増大及び安全性の向上を図るための空港建設計画にかかわるF/Sを実施するものである。 昭和59年度は事前調査団を派遣しS/Wを締結し、昭和60年1月より本格調査を開始した。	59	事前調査	59. 7.14 ~ 59. 7.28	5	68,510
			〃	実施調査	60. 1.19 ~ 60. 3.22	8	
			〃	〃	60. 1.26 ~ 60. 3.22	2	
			〃	〃	60. 2. 9 ~ 60. 3.15	1	

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		昭和60年度は現地本格調査を完了し、最終報告書を作成・提出した。	59	実施調査	60.3.9～60.3.22	3	75,150
			60	〃	60.7.6～60.7.19	6	
			〃	〃	60.10.18～60.11.1	6	
8	カンピロンピロ・ステート・ファーム開発計画	ザンビア国が第3次国家開発計画(1979～1983年)において食糧増産の一環として各州に2カ所計画している国営農場(ステート・ファーム)の一つであるカンピロンピロ・ステート・ファームの農業開発計画の策定を行うものである。57年度はコンタクト調査団を派遣し、本開発計画にかかる今後の協力の可能性について検討した。	57	事前調査	58.4.1～58.4.17	5	9,176
			58		(報告書作成)		1,603
9	無償資金協力案件評価調査	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (ザンビア, ザンビア, ケニア, タンザニア)	58	援助評価	58.10.30～58.11.15	3	(3,119)
10	穀物倉庫建設計画	穀物流通における多大な穀物損失をふせぐための倉庫の建設にかかる基本設計調査を実施した。	59	特	59.5.13～59.6.8	7	35,483
			〃	特(報)	59.8.27～59.9.9	3	1,689
11	地下水開発計画	地方住民の生活用水給水施設を整備するための機材整備にかかる基本設計調査を実施した。	59	特	60.2.24～60.3.18	4	9,754
			60	特			8,265
12	経済技術協力調査(プロジェクト形成)	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (ケニア, ザンビア, タンザニア, ジンバブエ)	59	形成基礎	59.11.29～59.12.29	(4)	(2,319)
13	東アフリカ小規模農村開発計画調査	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (タンザニア, ザンビア)	59	形成基礎	60.3.23～60.4.14	(6)	(5,826)
			60	〃			(38)
14	経済技術協力調査(プロファイ)	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (モザンビーク, ジンバブエ, ザンビア, エチオピア, 象牙海岸, ブルキナ・ファソ, セネガル, モーリタニア)	59	形成基礎	59.11.10～59.12.1	(4)	(932)
15	経済技術協力調査(プロファイ)	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (セネガル, タンザニア, ザンビア)	60	形成基礎	61.2.2～61.2.23	(4)	(3,436)

ザンビア

海外開発計画調査事業

ザンビア	No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
	1	中小規模工業経済協力 調査	中近東アフリカ一般を参照のこと。 (ザール, ザンビア)	45		46. 2.20 ~ 46. 3.24	(8)	(3,011)
	2	窒素肥料工場改修計画 調査	<p>既存プラントの操業率低下の原因をハード面, プロセス面, あるいは管理運営面などの視点から検討し, 安定操業ができるよう改修計画を策定し, 財務・経済効果を評価するもの。</p> <p>昭和55年度は, 第1次調査として同国の経済事情, 肥料の需給動向の把握, 生産低下の原因の把握, 財務・経理状況の把握を行った。</p> <p>昭和56年度は, 第2次の現地調査(設備の開放点検)を行い, この結果に基づき, 窒素肥料工場の改修計画を策定するとともに, 同計画の経済的, 技術的妥当性を検討し, これを報告書にとりまとめた。</p>	55	海	56. 2.20 ~ 56. 3.21	11	} 51,020
56				海	56.10. 2 ~ 56.11. 5	9		
〃				海(報告)	57. 1.29 ~ 57. 2. 7	2		
	3	磷鉱石開発計画	<p>本調査は, 有望な鉱床であるチレンプエ鉱床を対象に磷酸肥料の原料となる磷鉱石の開発計画本格調査を行う可能性を検討するためにザンビア国側の協力要請内容を具体的に把握することを目的とした。58年度は, 国内準備作業・現地調査, 国内解析を行い報告書を作成した。磷酸肥料の自国生産はザンビア国の国家計画の柱として位置づけられ, かつザンビア鉱工業開発公社の行った調査内容, 方法は適切であることが確認された。</p> <p>59年度は, 事前調査にてS/Wを署名交換し, 引き続き現地調査(ボーリング)を行い, 鉱量の把握を行い, 国内においてはサンプルの選鉱試験を行った。</p> <p>昭和60年度は, 国内での選鉱試験結果を含むファイナルレポートを取りまとめ, 送付した。</p>	58	海(予備)	58.10. 8 ~ 58.10.27	4	} 109,496
59				海	59. 6.15 ~ 59. 7.15	} 8		
〃				〃	59. 9. 7 ~ 59. 9.23			
					59. 9. 4 ~ 59. 9.23	} 3		
					60. 3.15 ~ 60. 3.24			
60				海	(報告書作成)	3,322		
	4	豆炭生産計画	<p>マンバ炭鉱における選炭過程で発生廃棄されている粉状炭を原料とし, ナカンバラ砂糖工場で排出されているモラセスあるいはバガスを結合材料として, 豆炭を製造し, あわせて豆炭用コンロを製造するためのパイロットプラント建設に対する技術的・経済的実行可能性のための計画を策定するものである。</p> <p>昭和60年度は, 昭和60年12月に事前調査を実施し, S/Wの署名を行い, そのS/Wに基づき, 昭和61年2月現地調査を実施し, ザンビア側の試作した豆炭の燃焼試験の結果, 脱煙処理の必要性につき確認した。</p>	60	海(事前)	60.12. 9 ~ 60.12.25	8	15,357
				〃	海	61. 2.23 ~ 61. 3.23	9	48,185

資源開発協力基礎調査事業

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	プロジェクト選定調査	世界一般を参照のこと。 (コロンビア、ドミニカ共和国、ザンビア、ビルマ、メキシコ)	58	資	59. 2.10 ~ 59. 2.25	2	(1,420)
2	事前調査折衝	世界一般を参照のこと。 (ブラジル、コロンビア、メキシコ、ザンビア、ビルマ、中国、トルコ、フィリピン)	59	資	59. 5.18 ~ 59. 6. 3	5	(770)
3	カレンダ地域資源開発調査	カレンダ地域において地質調査、地化学探査、物理探査及びボーリング調査の手法により石灰岩と交代した銀・銅・鉛・亜鉛の鉱床の賦存状況を把握する。 59年度は、S/Wについて協議署名を行うとともに、地質調査・地化学探査600km ² 、物理探査(CSAMT法)79km ² を実施した。 昭和60年度は、3カ年計画の第2次調査として、地化学探査(2.3km ²)、物理探査(SIP5km、IP16km)、ボーリング調査(6孔、1000m)を実施し、ボーリング調査により亜鉛鉱徴(0.31~1.60%)を把握したほか、地化学探査、物理探査により、異常帯分布が明らかとなった。	59	資	59. 8.17 ~ 59.11.17	8	57,281
			〃	資	59. 9. 7 ~ 59.11.17		
			〃	資	59.10.30 ~ 59.11. 3		
			60	資	60. 6.14 ~ 60. 6.22	11	108,952
			〃	資	60. 6.14 ~ 60. 8.13		
			〃	資	60. 7.28 ~ 60.11. 1		
〃	資	60.10.20 ~ 60.11. 1					

ザンビア

〔無償資金協力〕

無償資金協力事業

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額(億円)	調査年度	調査種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	農業輸送力増強計画 (I)(II)(III)	農産物等の輸送体制を整備するための輸送力増強計画の実施に必要な輸送車両の供与	56. 3.27	3					
			56. 7. 7	3					
			60. 5.31	0.54					
2	ザンビア大学附属教育病院小児医療センター設立計画(I)(II)	134床のザンビア大学小児医療センターの建設・拡充及び医療機材の供与	56. 7. 1	13	55	基本設計	55.10.25 ~ 11.21	9	開発調査
			57. 7. 7	10	〃	報告書説明	56. 2.10 ~ 2.21	4	〃
					60	フォローアップ	60. 5. 4 ~ 5.18	(2)	(1,679)
3	道路整備計画	農業振興・地域開発を図るための道路交通網整備用機材の供与	57.12.20	5	57	実施促進	57. 9.25 ~ 10. 5	1	1,438
4	ザンビア大学獣医学部建	畜産業振興の柱となる獣医師の育成を推	58. 8.30	24	57	事前調査	57.10.31 ~ 11. 7	1	開発調査

ザンビア

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
	設計画(I)(II)	進するためにザンビア大学に獣医学部を新設。これにかかる施設の建設および機材の供与	59. 6.28	14.83	57	基本設計	58. 2. 6 ~ 3.5	8	開発調査 (1,679)
					58	報告書説明	58. 5.22 ~ 6. 3	5	
					60	フォローアップ	60. 5. 4 ~ 5.18	(2)	
5	農業広報車整備計画	零細農民に対する農業技術指導のための農業技術普及広報用車輛の供与	58. 8.30	1.05	58	実施促進	58.12.10 ~ 12.20	1	1,351
6	穀物倉庫建設計画(I)(II)	流通段階における損失をふせぐことを目的とした穀物倉庫の建設	59.12.28	10.01	59	事前調査	58. 3.20 ~ 4.12	4	開発調査 10,970
			61. 3.18	5.56	〃	基本設計	59. 5.13 ~ 6. 8	7	
					〃	報告書説明	59. 8.27 ~ 9. 9	3	
					60	基本設計	60.11.10 ~ 11.25	3	
7	メヘバ難民キャンプ中学校建設計画	難民キャンプの子供達に教育を行うための学校の建設	61. 3.18	5.5	60	基本設計	60. 9.17 ~ 60.10.5	5	24,072
8	ルサカ市浄水場改善計画	ルサカ市上水道の給水量の向上を図るため、浄水場施設を改善する資機材の整備			60	基本設計	61. 3. 9 ~ 3.31	4	9,612
9	地下水開発計画	地方住民の生活用水給水施設を整備するための機材の供与	60.10. 8	6.26					
10	食糧増産援助	食糧増産を図るための農薬・農業機械等の供与	60.10. 8	8	60	実施促進	60.10.19 ~ 11. 1	(1)	(831)
					〃	〃	61. 3.17 ~ 4. 1	(1)	(931)

ジンバブエ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累計	
	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研修員	-		4,164	2	5,713	3	12,480	7	13,169	4	12,301	6	47,827	22
専門家	-		1,276	1	-		-		-		-		1,276	1
調査団	17,705	13	-		152,529	42	110,844	10	66,483	8	71,300	10	418,861	85
協力隊	-		-		-		-		-		-		-	
機材供与	-		12,416		-		8,540		7,597		7,805		36,358	
その他	2,160		127		6,938		1,397		1,319		1,878		13,819	
合計	19,865		17,983		165,180		133,261		88,568		93,284		518,141	

ジンバブエ

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人数 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 累計 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信・ 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商業・ 貿易	観 光	人的 資源				
研修員	22	1	3		1	1	6					6						4			47,827
専門家	1																		1		1,276
調査団	85	5		21	6	2	18	5			3	19					4				418,861
協力隊																					-
機材供与																					36,358
その他																					13,819
合計																					518,141

2. 事業別実績
〔一般の技術協力〕
研修員受入事業

シンパブエ

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
56年度	2						2																4,164
57 〃	3		1				1					1											5,713
58 〃	7	1				1	1					2								2			12,480
59 〃	4		1				1					2											13,169
60 〃	6		1		1		1					1								2			12,301
合 計	22	1	3		1	1	6					6								4			47,827

専門家派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
56年度	1																				1		1,276
合 計	1																				1		1,276

青年海外協力隊派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
57年度																							607
58 〃																							0
59 〃																							1,631
60 〃																							1,637
合 計																							3,875

〔プロジェクト方式技術協力〕

技術協力センター事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
職業訓練センター	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (ジンバブエ, スワジランド)	57	事前調査	57.11.7~ 57.11.24	(4)	(3,101)					(3,101)

ジンバブエ

保健医療協力事業(特別機材)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
農村診療所		56							手術用具, 血圧計他	12,416	12,416

農林業協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
農林業教育・研究基礎 調査	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (ザンビア, ジンバブエ)	60	開発基礎	60.8.25~ 60.9.15	(5)	(4,957)					(4,957)

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

№	プロジェクト名	概要	年 度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	経済技術協力調査	1965年11月, スミス白人政権が独立宣言を行って以来, 国連による経済制裁, 黒人勢力との紛争が続いていたが, イギリスの調停のもとに1980年4月「ジンバブエ」として独立した。このような背景のもとに, 今後, 同国に対す	55	事前調査	55. 6.25~55. 7. 7	5	4,907
				事前調査	56. 3.21~56. 4. 8	4	1,507

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		る協力のあり方を探るとともに、わが国の経済・技術協力システムの説明および協力案件の発掘を行うため調査を実施した。また1981年3月に開催された「ジンバブエ援助国会議」に参加し、同国の開発計画と援助について包括的な協議を行った。					
2	国鉄電化計画調査	ジンバブエ国鉄3,400kmのうち、最も輸送量の多いハラレ〜ダブカ間の355km(1期計画)の電化計画についてわが国の協力の可能性を検討するため調査を実施した。	55	実 施	55.11.6～55.11.23	7	9,382
3	衛星通信地球局建設 画	ジンバブエ国に大西洋衛星とアクセスする衛星通信地球局(標準A)を建設するもので、昭和57年9月に事前調査団を派遣しS/Wを締結すると共に、同年11月からF/S調査を実施し、ドラフト・ファイナル・レポートの現地説明と協議を行い、ファイナル・レポートを作成し、ジンバブエ政府へ提出した。	57	事前調査	57.9.26～57.10.12	5	7,906
			ク	実施調査	57.11.21～57.12.10	7	} 45,594
			ク	実施調査	58.2.6～58.2.20	6	
			58		(報告書作成)		71
4	村落給水計画	MawingoおよびMidlands両州の村落給水計画について技術的経済的F/S調査を実施し計画の最適案を策定するもので、昭和57年度は10月に事前調査団を派遣し、S/Wを締結するとともに、12月から昭和58年3月中旬まで村落共有地給水計画の基本計画策定に必要な水源調査、給水施設、維持管理体制、積算等の調査を実施しプログレスレポートをとりまとめジンバブエ国側と説明・協議を行った。 昭和58年度は国内作業によりドラフト・ファイナル・レポートを作成し、ジンバブエ国側に説明、コメントを得た後ファイナル・レポートを作成し先方政府へ提出した。	57	事前調査	57.10.23～57.11.21	5	13,452
			ク	実施調査	57.12.17～58.3.16	12	71,668
			58	実施調査	58.7.3～58.7.14	3	33,176
5	淡水養殖センター建設 計画	同国東南部におけるコイ、テラピア等の淡水養殖センター建設に係る事前調査を実施した。	57	特	57.9.11～57.9.25	2	} 4,455
			ク	特	57.11.8～57.11.15	1	
6	経済技術協力調査 (プロジェクト形成)	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (ケニア、ザンビア、タンザニア、ジンバブエ)	59	形成基礎	59.11.29～59.12.29	(4)	(2,319)
7	経済技術協力調査 (プロファイ)	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (モザンビーク、ジンバブエ、ザンビア、エチオピア、象牙海岸、ブルキナ・ファソ、セネガル、モーリタニア)	59	形成基礎	59.11.10～59.12.1	(4)	(932)

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
8	経済技術協力評価調査	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (マラウイ, ジンバブエ)	59	援助評価	60. 3. 5 ~ 60. 3. 26	(4)	(4,894)
			60	〃			(714)
9	農業開発計画	中近東・アフリカ一般を参照のこと。 (ケニア, ジンバブエ)	60	事前調査	60.10.28 ~ 60.11.17	(4)	(3,947)
10	マシゴ州中規模かんがい計画	マシゴ州には、黒人共有地が18地区あり、面積は全州の約40%、190万haにのぼっている。本件F/Sでは、この広大な地域の中から自然条件や社会条件をみて、中規模ダム計画の候補地を数カ所選定し、各候補地を対象とした中規模ダムによるかんがい農業開発計画を策定するものである。 昭和60年度は、昭和60年10月に実施したケニア、ジンバブエ農業開発計画調査の結果に基づき、昭和61年2月に本件事前調査を実施し、要請内容、実施体制の確認を行うとともに、本格調査の内容について協議し、S/Wを締結した。	60	事前調査	61. 2. 9 ~ 61. 2. 25	5	9,455

ジンバブエ

海外開発計画調査事業

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	鉱工業プロジェクト選定確認調査	世界一般を参照のこと。 (インド, タイ, ジンバブエ, アルゼンティン, チリ, ペルー)	60	海	61. 2. 7 ~ 61. 2. 15	3	3,735

資源開発協力基礎調査事業

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	プロジェクト選定調査	世界一般を参照のこと。 (ジンバブエ, モロッコ, タイ)	57	資	57.11. 3 ~ 57.11.23	(9)	(3,587)
2	事前調査折衝	世界一般を参照のこと。 (ブラジル, モロッコ, タイ, ジンバブエ, コロンビア)	58	資	58. 4. 22 ~ 58. 5. 3	1	(978)

ジンバブエ

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
3	シャムバ地域資源開発調査	シャムバ地域において、地質調査、地化学探査、物理探査等の手法を用いて含金石英脈鉱床、錫、ニオブ、タンタル鉱床、ニッケル、銅鉱床賦存の可能性を調査する。58年度は、全域(242km ²)において地質調査、地化学探査を実施した。 59年度は、物理探査(CSAMT法21km ² 、SIP法10km)を実施した。 昭和60年度は、3カ年計画のうち最終年次調査として、ボーリング調査(8孔、1,650m)を実施し、ニッケル、銅等の鉱徴を把握したが、品位及び規模的に稼行対象にはならないものと判断された。	58	資	58.7.7~58.9.22	6	72,821
			59	資	59.7.6~59.11.19		
			〃	資	59.8.28~59.9.4		
			〃	資	59.11.4~59.11.10	7	54,559
			60	資	60.6.21~60.11.8		
			〃	資	60.6.23~60.6.28	5	47,156
			〃	資	60.9.25~60.10.3		
〃	資	60.10.29~60.11.7					

〔無償資金協力〕
無償資金協力事業

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額(億円)	調査年度	調査種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	地方道路網復興計画 (I)(II)	内戦で生じた被災民の居住地域道路網の復興整備計画に必要な機材の供与	55.9.23	5	55	実施促進	55.11.1~11.11	2	1,908
			57.2.15	5	57	実施促進	57.5.16~5.30	(2)	(1,439)
2	被災民再定住計画	被災民の再定住、輸送及び農業指導等に必要な機材の供与	57.2.15	5	57	実施促進	58.2.9~2.25	(2)	(719)
3	農業輸送力増強計画	農業生産拡大と生産性の向上を推進するための農業輸送力の増強に必要な車輛の供与	58.3.28	5.5	58	実施促進	58.10.27~11.7	(2)	(977)
4	医療器具整備計画	医療サービスの向上を図る医療機材整備計画に必要な医療機材の供与	58.3.28	1.6	58	実施促進	58.6.24~7.7	(3)	(2,820)
					〃	実施促進	58.10.27~11.7	(2)	(977)
5	村落給水計画	マシング及びミッドランド両州にまたがる8地区の深井戸掘削、給水施設等の建設	58.9.28	8	58	実施促進	58.10.22~11.7		
					59	実施促進	60.1.26~2.5	1	1,340
6	食糧増産援助	食糧増産を図るための農業の供与	60.12.27	2					

中近東・アフリカ一般

〔プロジェクト方式技術協力〕

技術協力センター事業

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
ガーナ、ケニア巡回指 導 調査期間：	ガーナ繊維技術訓練センターおよびケニア小規模工業技術訓練センターに対する巡回指導。	41	巡回指導		1	736					736	
ケニア、ウガンダ、エ バリュエーション調査 調査期間：	ケニア小規模工業技術訓練センターおよびウガンダ職業訓練センターに対するエバリュエーション調査。	47	エバリュ エーション		2	1,280					1,280	
ケニア、ウガンダ巡回 指導 調査期間：48.10.22～ 48.11.2	ケニア小規模工業技術訓練センターおよびウガンダ職業訓練センターに対する巡回指導。	48	巡回指導	48.10.22～ 48.11.2	2	1,237					1,237	
トルコ、イラン巡回指 導 調査期間：50.11.30～ 50.12.16	トルコ・イスタンブール水産職業高校およびイラン電気通信研究センターに対する巡回指導。	50	巡回指導	50.11.30～ 50.12.6	3	2,278					2,278	
トルコ、ケニア巡回指 導 調査期間：52.2.17～ 52.3.8	トルコ・イスタンブール水産職業高校およびケニアNYS上級技術訓練センターに対する巡回指導。	51	巡回指導	52.2.17～ 52.3.8	3	2,622					2,622	
バハレーン職業訓練セ ンター、サウディ・ア ラビア海水淡水化訓練 センター	① バハレーン政府は、電気製品をはじめ各種機器の大半を外国製品の輸入にたよっているが、その修理保全要員に不足しているところから、今般わが国に修理・保全要員の養成を要請してきた。 ② サウディ・アラビア政府は、同国の工業化にともない、工業用水、飲料水の確保のため、海水淡水化を計画し(一部既に実施中であるが)わが国に海水淡水	57	事前調査	57.12.8～ 57.12.25	5	3,875					3,875	

中近東・アフリカ一般

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
	<p>化プラント研究協力を要請してきた。この研究協力要請は、海水淡水化機器の運転・操作・保全・修理のサウディ・アラビア人要員の訓練および養成も含むものである。</p> <p>上記要請にこたえ、相手国政府の目的と構想を確認するため、昭和57年11月バハレーンおよびサウディ・アラビアの2カ国に事前調査団が派遣された。</p>											

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
ケニア、タンザニア医療協力予備調査	ケニア、タンザニア両国の医療事情を調査し、診療団の派遣に最も適当と思われる地域を選定した。	41	予備調査	41.6.8～ 41.6.25	3	②127 2,266					2,398	
アフガニスタン、ケニア医療機材管理技術巡回指導班	ケニア国のケニヤック病院、ナクール病域、エンブ病院、アフガニスタン国の国立W.A.K病院を巡回し、既供与済機材の修理・保守業務を行った。	47	巡回指導	48.2.7～ 48.2.27	4	5,164					5,164	
ガーナ、タンザニア医療機材管理技術巡回指導班	ガーナ国のガーナ大学医学部、およびタンザニア国のダレサラーム大学医学部を巡回し、既供与済機材の修理・保守業務を行	47	巡回指導	48.3.5～ 48.3.24	3	3,469					3,469	

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
調査期間：48.3.5～ 48.3.24	った。											
エチオピア、ガーナ 医療機材修理班 調査期間：49.1.26～ 49.2.14	エチオピア国の帝国中央衛生研究所およびガーナ国のガーナ大学医学部を巡回し、既供与済機材の修理・保守業務を行った。	48	機材修理	49.1.26～ 49.2.14	4	6,458					6,458	
アフガニスタン、イラン、ケニア、ナイジェリア医療機材修理班	ケニア国のケニヤッタ病院及びナクール病院、ナイジェリア国のナイジェリア大学医学部、イフエ大学医学部、アフガニスタン国の国立W.A.K病院およびイラン国のテヘラン大学を巡回し、既供与済機材の修理、保守業務を行った。	49	機材修理	50.3.1～ 50.3.29	4	7,443					7,443	
ガーナ、ナイジェリア 医療協力巡回指導 調査期間：50.11.20～ 50.12.12	医学研究協力および医学教育協力プロジェクトについて、派遣専門家並びにカウンターパートのブラッシュアップを行い併せて現状における問題点を探った。	50	巡回指導	50.11.20～ 50.12.12	3	3,722					3,722	
ケニア、タンザニア医療機材修理班 調査期間：51.1.26～ 51.2.16	ケニア国のケニヤッタ病院およびナクール病院、タンザニア国のダレサラーム大学医学部を巡回し、既供与済機材の修理・保守業務を行った。	50	機材修理	51.1.26～ 51.2.16	3	5,291					5,291	
ガーナ、ナイジェリア 医療機材修理班 調査期間：51.1.11～ 51.2.4	ガーナ国のガーナ大学医学部、ナイジェリア国のナイジェリア大学医学部およびイフエ大学医学部を巡回し、既供与済機材の修理・保守業務を行った。	51	機材修理	51.1.11～ 51.2.4	4	8,064					8,064	
イラン、ケニア医療機材修理班 調査期間：52.2.7～ 52.3.13	イラン国のテヘラン大学医学部、ケニア国のナクール病院、ケニヤッタ病院 IGUへの既供与済機材の修理の巡回協力を実施した。	51	機材修理	52.2.7～ 52.3.13	5	18,190					18,190	

中近東・アフリカ一般

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
ガーナ、ナイジェリア 医療機材修理班 調査期間：52.2.17～ 52.3.14	ガーナ国のガーナ大学医学部、ナイジェリア国のイフェ大学、ナイジェリア大学への既供与済機材の修理の巡回協力を実施した。	51	機材修理	52.2.17～ 52.3.14	5	12,380						12,380
アフガニスタン、タンザニア結核対策巡回指導 調査期間：51.10.25～ 51.11.12	昭和49年度から実施しているアフガニスタン国およびタンザニア国における結核対策プロジェクトを視察し、派遣中の専門家および相手国機関に対し、助言指導を行った。	51	巡回指導	51.10.25～ 51.11.12	4	4,776						4,776
アルジェリア、チュニジア医療協力事前調査 調査期間：51.9.25～ 51.10.13	アルジェリア国およびチュニジア国における保健医療全般について基礎的調査を実施し、将来のわが国の医療協力の進め方について検討を行った。	51	事前調査	51.9.25～ 51.10.13	4	4,950						4,950
機材修理調査 調査期間：53.7.23～ 53.8.8	ガーナ大学医学部およびケニヤ、ケニヤッタ病院に供与された機材の保守・管理法の技術指導および修理を実施した。	53	機材修理	53.7.23～ 53.8.8	6	483						483

農林業協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
タンザニア、ザンビア、マラウイ、ケニア、東アフリカ地域農業協力プロジェクトファインディング調査 調査期間：48.3.22～ 48.4.18	東アフリカ4カ国(タンザニア、ザンビア、マラウイ、ケニア)における農業関係プロジェクトファインディング調査	47	事前調査	48.3.22～ 48.4.18	4	3,944						3,944
		48	(同上報告書)				541					541

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
ゼネガル、ギニア、リベリア、象牙海岸、ガーナ、ナイジェリア、西アフリカ地域農業協カプロジェクトファインディング調査 調査期間：49.2.26～49.3.30	西アフリカ地域の6カ国（セネガル、ギニア、リベリア、象牙海岸、ガーナ、ナイジェリア）において、農業事情の現状把握と意見交換および農業開発についての実績と将来の見通しにつき調査を行うことにより、将来の農業協力の方向付けの一助とする。	48	事前調査	49.2.26～49.3.30	5	6,347				6,347	
		49	(同上報告書)			499				499	
イラク、サウディ・アラビア、北イエメン、中近東地域農業協カプロジェクトファインディング調査 調査期間：50.2.9～50.3.10	中近東諸国は、わが国の経済発展と密接な関係にあり、これらに対する技術協力の促進はわが国との友好関係の増進に大きな意義をもつものである。また、中近東諸国は食糧問題が深刻で、その大部分を海外に依存しており、その解決のため、これら地域は乾燥地農業の開発にとり組み、わが国に対しても協力を要請している。 本調査は、これら諸国の当面するもっとも大きな課題である乾燥地農業の開発について、その可能性とこれに対するわが国の協力の可能性を探り、今後の農業協力の推進に資するものである。 乾燥地農業の特異性と、同地域におけるわが国の技術的未経験などから、協力のステップとして開発の実験農場を設置して、農業生産技術上の応用試験研究の実施可能性を主として調査した結果、第1候補地（ハラード遊牧民定着プロジェクト）およ	49	事前調査	50.2.9～50.3.10	5	5,502				5,502	
		50	(同上報告書)			496				496	

中近東・アフリカ一般

中近東・アフリカ一般

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規			
	び第2候補地(アル・ハルジ農業試験場)をプライオリティーが高いものとして確認した。										
エジプト、トルコ農林業協力プロジェクトファインディング調査 調査期間：56.4.21～56.5.4	中近東地域のトルコおよびエジプト両国の農業振興政策を総合的に促え、わが国の対応が可能で有効なプロジェクト案件の発掘と内容把握を行うため、昭和56年4月に標記調査団を派遣した。その結果、エジプトについては、稲作機械化センターの技術協力および日本・エジプト農民の交流促進を早急に実現する必要があると判断された。またトルコについては、イスタンブール海洋水産資源職業訓練高校の協力後の活動状況から、その協力効果は顕著であるがなおスペアパーツを中心とした機材のアフターケアが必要であると報告された。	56	事前調査	56.4.21～56.5.4	4	6,232					6,232
		57	(同上報告書)			254					
ケニア、ザンビア農林業協力プロジェクトファインディング調査 調査期間：57.10.26～57.11.10	ケニアおよびザンビアの2カ国を対象にして、ケニア政府からは、農業省果樹園芸試験場におけるマカダミアナット開発プロジェクトについて、ザンビア政府からは、ザンビア大学獣医学部新設プロジェクトについての技術協力要請がなされているので、両案件の内容把握を行うとともに、まだ要請はないが、プロジェクト方式技術協力の可能性ある案件の発掘、選定に努めるなど、プロジェクト・ファインディング調査を実施した。	57	事前調査	57.10.26～57.11.10	5	8,332					8,332
		58				288					288

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
ジンバブエ、ザンビア 農林業教育・研究基礎 調査	開発途上国における農林業開発の推進に、重要な役割を担う農林業教育及び試験研究の実態を把握しておくことは、今後の農林業技術協力を効果的に推し進めるうえで、ぜひとも必要である。このような観点に基づき、昭和60年度は、情報が乏しいジンバブエ、ザンビアを対象国として選定し、調査を実施した。本調査では両国の農業省、試験研究機関、大学等を訪問し、農林業技術水準、人材賦存状況、農林業教育制度、試験研究機関の実態及び問題点についての情報を収集した。	60	基礎調査	60.8.25～ 60.9.15	5	9,914					9,914	
東アフリカ半乾燥地農 畜産計画基準作成調査	アフリカでは恒常的、地域的飢餓が発生しているが、このアフリカにおける食糧問題の解決のためには、緊急の食糧援助に加え、中・長期的視点からの経済・技術協力が望まれている。 しかし、わが国には、アフリカ地域、特に農林業分野の知識の蓄積は少なく、また経験を有する農業技術者も限られている。このような状況を踏まえ、アフリカ地域のなかでも、今後、わが国の技術協力の拡大が予想される東アフリカの半乾燥地帯において、農業及び畜産分野の環境状況、営農形態等の基礎的調査を行い、有効な協力が	60	基礎調査	60.9.29～ 60.10.18	4	28,551					28,551	
		"	"	60.11.21～ 60.12.8	5							

中近東・アフリカ一般

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
	可能な分野，技術協力の可能性とその手法，適正な技術協力の要件等について調査した。											

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	トランス・アフリカン ・ハイウェイ計画	①モンバサ～バンギ間連絡道路建設事前調査 同間の約1,500 kmの事前調査が日本に要請されたのでこれを踏査し，本格調査団の日程計画，装備計画等の立案を行い，又，同間の南北2ルートの比較検討を行った。	46	事前調査	46. 8.20～46. 9.23	2	3,746
			46	アフターケア	47. 3.30～47. 3.31	2	1,569
			47	アフターケア	47. 4. 1～47. 4.18	(2)	
		②キサマンガニ～バンガソウ間道路建設計画 トランス・アフリカン・ハイウェイ計画の同国内の区間(約740 km)の道路につき現道の改良を主体とした路線調査，道路建設による地域開発可能性等の経済調査。 ECAの推進しているトランスアフリカハイウェイ計画は，現在交通網の不備から交流がとだえている東西アフリカの文化，経済交流を促進させることを	48	実施調査	48.12.27～48. 4.10	12 + (1)	64,659
			49	実施調査			1,057
			49	実施調査	49. 9. 1～49.12.16	13	146,405
			49	実施調査	49.11. 2～49.11.21	3	
			50	実施調査	50. 4. 2～50. 4.29	4	53,065
50	実施調査	50.11. 3～50.11. 7	1				

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		目的としたものであり、ケニアのモンバサからナイジェリアのラゴスにいたる総延長約6,500 kmの道路を建設しようというものである。このルートのうち、わが国はザイール国内キサングニ・バンガソウ間約740 kmの区間についてフィージビリティ調査を担当し、49年度においては補足路線調査、構造物調査、施行条件調査、地域経済調査、交通調査を中心とする第2次現地調査を行った。50年度は、本件調査のインテリム・レポートの説明及びトランス・アフリカン・ハイウェイ調整委員会への出席。	51	報告書説明	51.5.28～51.6.13	5	33,150
2	中東産油国における砂漠地域開発に関する調査研究	中東地域の経済社会開発について、その開発計画の内容等を分析し、日本の経済技術協力の今後の在り方、とりわけその中で、砂漠地域開発の面における技術協力の可能性について、調査研究を行った。 (イラン、サウディ・アラビア、エジプト)	49	研	国内作業のみ (49.10.25～50.1.24)		3,045
3	開発調査プロジェクト選定確認調査	① (象牙海岸、リベリア、セネガル)	50	事前調査	50.10.12～50.10.22	3	3,976
4	西アフリカ漁業開発調査	(ガーナ、ガボン、サントメ・プリンシペ)	51	事前調査	52.3.3～52.3.31	8	12,964
5	無償案件評価調査	既に水産無償を実施しているガンビア、モーリタニア、カーボ・ヴェルデにおいて案件の適正度、社会的、経済的、技術的効果、技術協力との関係、供与後の管理運営状況等について評価調査を実施した。 調査対象案件 1. ガンビア：漁船増強計画（昭和50年度実施）、漁業開発計画（昭和55年度実施） 2. カーボ・ヴェルデ：沿岸漁業開発計画（昭和54年度実施） 3. モーリタニア：漁業振興計画（昭和52年度実施）	57	評価調査	58.4.3～58.4.24	3	4,584 838
6	医療機材整備計画	ニジェール、ルワンダ両国の医療体制の充実を図るため、医療機材の供与にかかわる基本設計調査を実施した。	58	特	58.7.12～58.8.3	6	26,254
7	無償資金協力案件評価調査	すでに無償資金協力を実施しているザイール、ザンビア、ケニア、タンザニアにおいて案件の適正度、社会的、経済的、技術的効果、技術協力との関係、供与後の管理・運営状況等について評価調査を実施した。	58	援助評価	58.10.30～58.11.15 58.9.12～58.9.25	3	12,475

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		<p>評価対象案件</p> <p>ザイール 農業輸送力増強計画 農業機械化整備計画</p> <p>ザンビア 農業輸送力増強計画</p> <p>ケニア イタンガ地区上水道整備計画 地下水開発計画</p> <p>タンザニア キリマンジャロ農工業開発センター</p>					
8	漁業振興計画	(カメルーン, サントメ・プリンシペ)	59	特(事前)	59.8.31～59.9.25	5	13,013
9	漁業振興計画	(ガーナ, トーゴ)	59	特	59.10.27～59.11.18	5	18,470
10	西アフリカ諸国経済技術協力案件発掘調査	<p>セネガル, モロッコ, 及びニジェールの各国に対し, わが国の経済技術協力の仕組みを説明するとともに今後の主として農業分野の協力案件の発掘を行った。</p> <p>(セネガル, モロッコ, ニジェール)</p>	59	形成基礎	59.9.19～59.10.9	5	8,301
11	経済技術協力調査(プロジェクト形成)	<p>象牙海岸, セネガル, マリ, カメルーンに対し, 食糧増産を中心とした農業開発を推進するために当該国政府関係者との協議及び現地調査を目的とした「西アフリカ農業プロジェクト形成予備調査団」を派遣した。</p> <p>(象牙海岸, セネガル, マリ, カメルーン)</p>	59	形成基礎	59.11.28～59.12.16	4	8,898
12	対アフリカ食糧・農業問題総合対策調査	<p>セネガル, ケニア及びエチオピアに対し, 中・長期的観点からの食糧増産を中心とした農業開発協力に関し, 当該国政府関係者との意見交換を目的とした調査団を派遣した。</p> <p>(エチオピア, ケニア, セネガル)</p>	59	形成基礎	60.4.6～60.4.22	6	14,310
			60				
13	経済技術協力調査(プロジェクト形成)	<p>ケニア, ザンビア, タンザニア及びジンバブエの各国に対し, 食糧増産を中心とした小規模農村開発を推進するために当該国政府関係者との協議及び現地調査を目的とした「東アフリカプロジェクト形成予備調査団」を派遣した。</p> <p>(ケニア, ザンビア, タンザニア, ジンバブエ)</p>	59	形成基礎	59.11.29～59.12.29	4	9,274
14	東アフリカ小規模農村開発計画調査	<p>ケニア, ザンビア, タンザニア及びジンバブエに派遣した「東アフリカプロジェクト形成予備調査団」の調査結果を踏まえ, 対象国をザンビア及びタンザニアにしほり, 具体的プロジェクトの形成を目的とした「第2次東アフリカ</p>	59	形成基礎	60.3.23～60.4.14	6	11,652
			60				

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		プロジェクト形成調査用」を派遣した。 (タンザニア, ザンビア)					
15	経済技術協力調査 (プロファイ)	食糧及び難民問題を抱えるモザンビーク, ジンバブエ, ザンビア, エチオピア, 象牙海岸, ブルキナ・ファソ, セネガル及びモーリタニアの各国に対し, わが国の民間援助団体とともに今後の援助方針の策定のため当該国政府及び民間援助団体関係者との協議と現地調査を行った。 (モザンビーク, ジンバブエ, ザンビア, エチオピア, 象牙海岸, ブルキナ・ファソ, セネガル, モーリタニア)	59	形成基礎	59.11.10～59.12.1	4	7,455
16	経済技術協力調査 (プロファイ)	食糧及び難民問題を抱えるスーダン及びソマリアに対し, わが国の経済技術協力の仕組みを説明するとともに, 今後の主として無償資金協力案件の発掘を行った。 (スーダン, ソマリア)	59	形成基礎	60.1.26～60.2.7	4	4,831
17	経済技術協力評価調査	学識経験者等第三者の参加を得てエジプト及びケニアにおける経済技術協力案件4件について評価調査を行うとともに青年海外協力隊, 派遣専門家との意見交換を行うことにより広く, 両国に対するわが国の経済技術協力に関する有識者からの提言をとりまとめた。 1. エジプト ・ショブラ機械整備職業訓練センター ・カイロ大学附属小児科病院 ・カイロ上水道計画 2. ケニア ・ジョモ・ケニヤッタ農工大学 (エジプト, ケニア)	59	援助評価	59.12.3～59.12.19	4	9,488
18	経済技術協力評価調査	中央アフリカ及びニジェール両国において供与した道路整備用機械(無償資金協力)についてその利用・管理状況, 案件の協力効果を把握するとともに本分野への協力に関する共通の問題点, 要改善点等について評価調査を行った。 1. ニジェール ・道路整備計画(昭和53年度)	59	援助評価	59.12.8～59.12.19	2	6,908

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		2. 中央アフリカ ・無償供与機械(昭和53, 56年度) (中央アフリカ, ニジェール)					
19	経済技術協力評価調査	マラウイ及びジンバブエ両国において供与した道路整備用機械(無償資金協力)についてその利用・管理状況, 案件の協力効果を把握するとともに本分野への協力に関する共通の問題点, 要改善点等について評価調査を行った。 1. マラウイ ・道路網整備計画 2. ジンバブエ ・地方道路復興計画 (マラウイ, ジンバブエ)	59 60	援助評価	60. 3. 5 ~ 60. 3. 26	4	9,788 714
20	ケニア, ジンバブエ農業開発計画	ケニア政府から要請のあった「ムエア地区かんがい開発計画」に関し, 事前調査を実施し, 協議, 関連資料の収集及び現地調査を踏まえて, 本格調査の実施に関するS/Wを締結した。またジンバブエより要請のあった「マシング州中規模ダム計画」に関し, コンタクト調査を実施し, 要請内容及び背景の確認, 関連情報の収集を行い, 現地調査を実施した。 (ケニア, ジンバブエ)	60	事前調査	60.10.28 ~ 60.11.17	4	7,894
21	農業開発計画	マリにおいては, バギンダ地区3,000 haの既耕地における営農を既存施設の改修によって安定化を図る現行F/S(昭和55~56年度実施)をもとに, 改修効果の高い部分を選定し, 無償案件の選考に適合する計画を策定するもので, 昭和60年度は, 現地踏査により現況老朽度の調査, リハビリ効果の高い計画対象区間の決定を踏まえ, S/Wを締結した。 モロッコにおいては, 協力の可能性がある案件についてコンタクト調査を実施した。 (マリ, モロッコ)	60	事前調査	60. 6. 26 ~ 60. 7. 13	5	9,524
22	経済技術協力調査(プロジェクト・ファインディング)	セネガル, タンザニア及びザンビア各国に対して, わが国の経済技術協力の仕組みを説明するとともに, アフリカ緑の革命構想に関連する植林等緑の増進を図るための協力案件の発掘を行った。	60	形成基礎	61. 2. 2 ~ 61. 2. 23	4	10,308

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		(セネガル, タンザニア, ザンビア)					
23	経済技術協力評価調査 (有識者評価調査)	<p>学識経験者等第三者の参加を得てエジプト, タンザニアにおける経済技術協力案件6件について評価調査を行うとともに, 派遣専門家, 青年海外協力隊員との意見交換を行うことにより, 広く両国に対するわが国の経済技術協力に関する有識者からの提言を取りまとめた。</p> <p>① エジプト カイロ大学小児科病院 G T A 電車訓練センター アラブ海運大学校 エル・デキーラ製鉄所</p> <p>② タンザニア モロゴロ道路改修計画 セランダー橋拡張計画</p> <p>(エジプト, タンザニア)</p>	60	援助評価	60. 8.29 ~ 60. 9.12	2	2,088
24	青年海外協力隊活動視 察	<p>青年海外協力隊発足20周年にあたり, 学識経験者等第三者の参加を得て, ケニア, タンザニアにおける隊員活動について視察を行い, また隊員との意見交換を行うことにより有識者からの提言を取りまとめた。</p> <p>(ケニア, タンザニア)</p>	60	援助評価	60. 8.30 ~ 60. 9.27	4	5,701

海外開発計画調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	中小規模工業経済協力 調査	①(スーダン, タンザニア)	38	海	39. 1. 9 ~ 39. 2.24	10	10,268
		②(イラン, ケニア, タンザニア)	42	海	42. 8.19 ~ 42. 9.11	5	5,596
		③(カメルーン, 中央アフリカ, エチオピア, ナイジェリア)	44	海	44.11.26 ~ 44.12.25	8	11,219
		④(エチオピア, ザール, ザンビア)	45	海	46. 2.20 ~ 46. 3.24	8	9,052

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
2	鉱工業プロジェクト選定確認調査	①(アルジェリア, リビア, モロッコ, 象牙海岸, セネガル)	47	海	47. 9.21 ~ 47.10.14	2	2,930
		②(ケニア, マダガスカル, タンザニア)	48	海	49. 2.21 ~ 49. 3.11	2	1,755
		③(ガーナ, 象牙海岸, リベリア, ナイジェリア, ザイール)	49	海	49.11.15 ~ 49.12. 2	2	2,432
		④(エジプト, サウディ・アラビア, トルコ)	49	海	50. 2.10 ~ 50. 3. 3	2	2,142
		⑤(アルジェリア, モロッコ, 象牙海岸, セネガル)	50	海	50.10. 5 ~ 50.10.25	2	2,704
		⑥(アルジェリア, アラブ首長国連邦, ニジェール)	51	海	51. 5.26 ~ 51. 6.16	3	5,337
		⑦(タンザニア, モロッコ)	55	海	55.10.10 ~ 55.10.27	6	11,057
		⑧(チュニジア, アルジェリア, セネガル, 象牙海岸)	57	海	57. 8.16 ~ 57. 9. 3	3	8,928
		⑨(チュニジア, エジプト)	59	海	60. 2.13 ~ 60. 3. 1	7	11,319
		〃	60	海	(報告書作成)		392
3	エジプト, ケニア, 中近東, アフリカ諸国鉱工業プロジェクト・フォローアップ調査	調査中と調査終了のプロジェクトに関し, 相手国政府関係機関と協議し, 調査の問題点の解明と日本側より提出した調査報告書の評価, 活用の実態, また今後の協力関係を推進するため日本側に対する要望点など幅広い観点から調査し, 今後の事業運営に反映させることを目的としたもので, エジプトのヘルワン製鉄所改造計画, ディケラ還元鉄工場計画, ケニアのリフト溪谷地熱開発計画について調査した。	55	海	56. 2.27 ~ 56. 3.14	4	7,349
			56	海			
4	鉱工業プロジェクト・フォローアップ調査(ケニア, タンザニア)	鉱工業関係開発調査において当事業団発足(昭和49年8月)以降の案件であり, かつ調査が終了したものについて, ①調査報告書の活用状況を追跡調査し, ②今後の当事業団の調査能力の改善・向上に資すること等を目的とし, 昭和56年度より調査を行っている。 昭和60年度は, ケニア, タンザニア両国について現地調査を行った。	60	海	61. 2. 8 ~ 61. 2.19	5	6,515

資源開発協力基礎調査事業

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	ボツワナ, マダガスカル, アフリカ地区プロジェクト選定確認調査	ボツワナ, マダガスカル2カ国に対するわが国の技術協力のうち, 資源開発協力基礎調査を効率的に実施するため, 各国の要請プロジェクトの内容, 対象地域の地質状況ならびに当該各国の経済開発計画における位置づけ等の調査を行い, わが国の協力し得るプロジェクトの選定確認を行った。	52	資	52. 7.17 ~ 52. 7.22	6	6,840
			〃	資	52. 9.29 ~ 52.10.18		

〔無償資金協力〕

実施促進調査

№	対 象 案 件 名	概 要	年度	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経 費 実 績 (千円)
1	ザイール輸送力増強計画 ルワンダ・マツチ工場建設計画 ケニア・ケニヤッタ農工大学建設計画		53	53.10.29 ~ 53.11.10	1	672
2	ベナン病院用医療機材整備計画 トーゴ保健医療用車両整備計画 上ヴォルタ巡回医療用機材整備計画		54	54. 7. 8 ~ 54. 7.29	2	2,406
3	シェラ・レオーネ医療機械整備計画 マラウィ・チティバ地区上水道敷設計画		54	54. 8.18 ~ 54. 8.31	2	2,065
4	ザイール道路整備計画 ブルンディ輸送力増強および医療設備改善計画		54	54. 9.13 ~ 54. 9.24	2	1,893
5	上ヴォルタ巡回医療用車両整備計画 トーゴ保健医療用車両整備計画 ベナン病院用医療機材整備計画		54	54.11.11 ~ 54.12. 1	2	2,687
6	ザイール道路整備計画 ルワンダ保健医療施設改善計画, 国営マツチ工場建設計画 ブルンディ輸送力増強および医療設備改善計画		54	54.11.17 ~ 54.12. 2	2	2,287
7	ガーナ漁業調査計画 シェラ・レオーネ医療機械整備計画		54	54.11.22 ~ 54.12. 8	2	2,838
8	ケニア・ケニヤッタ農工大学設立計画 マラウィ・チティバ地区上水道敷設計画		54	55. 2.16 ~ 55. 2.26	2	1,853
9	エジプト・リフトバレー熱対策計画 ジョルダン・電子工学サービス訓練センター計画		54	54. 6.26 ~ 54. 7.17	2	1,594
10	エジプト・リフトバレー熱対策計画 スーダン・ガサバ地区実験農場拡充計画, 漁業開発計画		54	54.11. 7 ~ 54.11.19	1	792
11	エジプト・リフトバレー熱対策計画 ジョルダン電子工学サービス訓練センター計画		54	55. 4.10 ~ 55. 4.17	2	1,546
12	セネガル地方水道敷設計画 モロッコ漁業技術者養成計画		54	54.11.25 ~ 54.12. 7	3	3,255

中近東・アフリカ一般

中近東・アフリカ一般

№	対 象 案 件 名	概 要	年度	調 査 期 間	調 査 団 派 遣 人 数	経 費 実 績 (千円)
13	スーダン・漁業振興計画, 青ナイル流域感染症対策計画 エジプト・カイロ大学小児科病院計画, ハイダム漁業管理 センター計画		55	55. 7.12 ~ 55. 7.26	2	2,390
14	スーダン・青ナイル流域感染症対策計画 ソマリア・水産物流通改善計画		55	56. 1. 9 ~ 56. 1.23	2	2,624
15	ルワンダ・衛星通信地上局建設計画, 医療施設整備計画 ザイール・農業輸送力増強計画, 道路整備計画		55	55. 7. 4 ~ 55. 7.18	2	2,898
16	ケニア・ケニヤッタ農工大学建設計画 サントメ・プリンシペ・社会環境整備計画		55	55.11.19 ~ 55.12. 8	3	5,703
17	象牙海岸・海洋科学技術学校設立計画 トーゴ・地下水開発計画		55	55.12. 6 ~ 55.12.18	2	4,298
18	ガーナ・零細漁民育成計画 ナイジェリア・漁業調査訓練船計画		55	56. 1.19 ~ 56. 2. 1	2	2,051
19	コモロ・海難漁民救助計画 モーリシャス・漁業研究センター建設計画 マダガスカル・零細漁民振興計画, アンティラナナ畜産技 術指導センター設立計画		55	56. 2.18 ~ 56. 3.13	2	3,181
20	ギニア・ビザオ・漁業振興計画 ガンビア・ジェバ川流域稲作開発計画		55	56. 2.28 ~ 56. 3.16	2	2,698
21	リベリア・モンロビア病院設立計画 シエラ・レオーネ・漁業振興計画		56	56. 6.29 ~ 56. 7.11	2	2,442
22	象牙海岸・海洋科学技術学校設立計画 ニジェール・ニアメ発電所拡張計画		56	56. 7.10 ~ 56. 7.24	3	5,475
23	モーリタニア・漁業振興計画 マリ・地下水開発計画		56	56. 9.19 ~ 56.10. 4	2	2,721
24	ルワンダ・国道整備計画 ケニア・医療器具供給計画		56	56.12. 2 ~ 56.12.18	2	2,870

№	対 象 案 件 名	概 要	年度	調 査 期 間	調 査 団 派 遣 人 数	経 費 実 績 (千円)
25	マダガスカル・零細漁民育成計画, アンティラナ畜産技術指導センター計画 コモロ・沿岸漁業振興計画, 海難漁民救助計画		56	57. 2. 8 ~ 57. 2. 23	2	3,263
26	ケニア・地下水開発計画 タンザニア・漁業振興計画, キリマンジャロ農業開発計画, 工業開発センター計画		56	57. 3. 12 ~ 57. 3. 27	3	5,782
27	ベナン・地方医療施設拡充計画 上ヴォルタ・医療機能強化計画		56	57. 3. 15 ~ 57. 3. 29	3	4,119
28	スーダン・青ナイル流域感染症対策計画, 魚類流通機構改良計画 ソマリア・水産物流通改善計画		56	57. 2. 11 ~ 57. 3. 3	3	4,178
29	マラウイ・道路網整備計画 ジンバブエ・地方道路網復興計画		56	57. 5. 16 ~ 57. 5. 30	2	2,877
30	中央アフリカ・医療機能強化計画 セネガル・		57	57. 5. 29 ~ 57. 6. 14	3	4,694
31	スーダン・給水電力事情改善計画 エジプト・優良種子生産計画		57	57. 7. 8 ~ 57. 7. 22	2	2,112
32	エジプト・ハイダム湖漁業管理センター建設計画 シュラレオーネ・漁業振興計画		57	58. 3. 8 ~ 58. 3. 20	2	3,235
33	ケニア・中央医療研究所建設計画 タンザニア・医療機材整備計画		57	57. 7. 17 ~ 57. 7. 31	1	1,466
34	マダガスカル・零細漁業育成計画 コモロ・飲料水供給計画		57	57. 7. 29 ~ 57. 8. 17	1	1,634
35	マリ・保健機能強化計画 ニジェール・医療施設拡充計画		57	57. 8. 29 ~ 57. 9. 16	3	7,324
36	ガーナ・地方医療強化計画 リベリア・モンロビア病院設立計画		57	58. 1. 20 ~ 58. 1. 31	2	2,585

№	対 象 案 件 名	概 要	年度	調 査 期 間	調 査 団 派 遣 人 数	経 費 実 績 (千円)
37	タンザニア・漁業振興計画 ケニア・中央医療研究所設立計画 ザンビア・無償関連調査 ジンバブエ・被災民再定住計画		57	58. 2. 9 ~ 58. 2. 25	2	2,875
38	ザイール・市街地道路整備計画 セネガル・水産冷蔵流通計画 象牙海岸・海洋科学技術学校設立計画		57	58. 3. 1 ~ 58. 3. 21	2	3,531
39	カーボ・ヴェルデ・保健機構強化計画 セネガル・地方水道整備計画		57	58. 3. 1 ~ 58. 3. 16	1	1,572
40	モザンビーク・漁業振興計画 セイシエル・給水網整備計画		57	58. 4. 9 ~ 58. 4. 25	3	3,293
			58	58. 4. 9 ~ 58. 4. 25	1	1,580
41	スーダン・ガサバ地区パイロット農場 エジプト・アインシャムス大学医学部改善		58	58. 6. 15 ~ 58. 7. 1	5	7,457
42	スーダン・給水改善計画 エジプト・米作機械化計画		58	58. 5. 27 ~ 58. 6. 13	3	3,719
43	エジプト・農業機械貸出センター スーダン・青ナイル流域感染症予防		58	58. 12. 4 ~ 58. 12. 18	1	1,325
44	ガンビア・コツ発電所拡充計画 ジンバブエ・医療機材整備計画		58	58. 6. 24 ~ 58. 7. 7	3	5,641
45	中央アフリカ・道路整備計画 ニジェール・道路整備計画		58	58. 7. 11 ~ 58. 7. 26	2	3,121
46	ニジェール・アイール鉱山学校機能強化計画 トーゴ・輸送力増強計画		58	58. 9. 16 ~ 58. 10. 8	2	3,060
47	ガーナ・水産振興計画 ケニア・中央医療研究所建設計画 ジンバブエ・農業輸送力増強計画		58	58. 10. 22 ~ 58. 11. 7	2	2,932
48	ブルキナ・ファソ・水資源農村施設局機材整備計画 ニジェール・道路整備計画		58	59. 1. 29 ~ 59. 2. 10	1	1,372

№	対 象 案 件 名	概 要	年度	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経 費 実 績 (千円)
49	ガーナ・水産振興計画 リベリア・医療機材整備計画		58	59. 2.11 ~ 59. 2.26	2	2,918
50	ソマリア・モガディシュ総合病院再整備計画 ケニア・中央医療研究所建設計画		58	59. 4.10 ~ 59. 4.26	2	3,282
51	カメルーン・地下水開発計画 ナイジェリア・鯨一本釣訓練船建造計画		58	59. 3.26 ~ 59. 4. 7	2	3,341
52	セネガル・地下水道整備フォローアップ トーゴ・		58	59. 3. 9 ~ 59. 3.26	3	4,824
53	セネガル・輸送力増強計画 ニジェール・医療機材整備計画		59	59. 6.11 ~ 59. 6.30	2	4,000
54	ケニア・ジョモケニヤッタ農工大農場整備計画 ソマリア・モガデシュ総合病院整備計画		59			43
55	ソマリア・輸送力増強計画 スーダン・ケジラ大学繊維機材整備計画		59	59. 8. 1 ~ 59. 8.14	1	1,676
56	タンザニア・国家食糧計画 ケニア・総合農業開発計画 マラウイ・道路整備計画		59	59. 6.29 ~ 59. 7.14	1	1,554
57	タンザニア・食糧増産援助 モーリシャス・漁港建設計画		59	59. 9.19 ~ 59.10. 3	1	1,622
58	ナイジェリア・鯨一本釣調査訓練船建造計画 リベリア・モンロビア病院建設計画		59	59. 9.17 ~ 59. 9.28	2	3,124
59	ニジェール・輸送力増強計画 ルワンダ・国道整備計画		59	59.10. 7 ~ 59.10.22	3	5,523
60	エジプト・食糧増産計画 ケニア・ ザンビア・		59	59.11. 1 ~ 59.11.14	2	3,154
61	ソマリア・モガデシュ総合病院再整備計画 ケニア・中央医療研究所建設計画(II)		59	59.11.16 ~ 59.11.27	1	1,333

中近東・アフリカ一般

№	対 象 案 件 名	概 要	年度	調 査 期 間	調 査 団 派 遣 人 数	経 費 実 績 (千円)
62	スーダン・食糧増産援助 イエメン・国立結核センター拡充計画		59	59.11.17～59.11.29	1	1,530
63	マリ・道路整備計画 ギニア・食糧輸送力増強計画		59	60. 1.22～60. 2. 3	1	1,444
64	ウガンダ・地方道路補修計画 ケニア・道路補修計画		59	60. 3. 9～60. 3.22	1	1,526
65	スーダン・ゲジラ大学食品加工学科改善計画 ソマリア・モガデシュ総合病院整備計画		59	60. 4. 8～60. 4.24	1	1,785
66	中央アフリカ・医療機能強化計画 ニジェール・食糧増産援助		59	60. 4. 8～60. 4.23	1	1,900
67	セネガル・地方水道整備フォローアップ トーゴ・		59			12
68	エジプト・食糧増産援助・農業機械貸出センター建設計画, 教育・文化センター建設計画 イエメン・食糧増産援助		60	60. 5.24～60. 6. 7	2	2,398
69	スーダン・ゲジラ大学食品加工学科改善計画, 難民用食糧 輸送増強計画, 北部農業道路整備計画 エチオピア・小規模かんがい計画		60	60. 5.30～60. 6.14	2	3,221
70	ザンビア・食糧増産援助 ケニア・		60	60.10.19～60.11. 1	1	1,662
71	セネガル・農業道路整備計画, 食糧増産援助 モーリタニア・食糧輸送力増強計画, 食糧増産援助		60	61. 1.13～61. 1.24	1	1,477
72	モザンビーク・輸送力増強計画 ケニア・中央医療研究所建設計画		60	61. 3. 8～61. 3.23	2	3,576
73	タンザニア・南岸道路建設計画 ザンビア・食糧増産援助		60	61. 3.17～61. 4. 1	1	1,862
74	ケニア・中央医療研究所, ジョモケニヤック農工大学付属 農場整備計画		60	60. 5. 4～60. 5.18	2	3,357

№	対象案件名	概要	年度	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
	ザンビア・ザンビア大学獣医学部, 同大学付属小児医療センター建設計画	フォローアップ調査				
75	セネガル・漁業振興計画 モーリタニア・漁業振興計画	フォローアップ調査	60	60.7.7~60.7.21	3	4,768

基本設計調査

№	対象案件名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	スーダン・首都圏衛生改善計画 タンザニア・公衆衛生計画		60	基本設計	60.10.7~60.11.5	5	24,252

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)	
1	ガボン, カメルーン林業開発協力	わが国の外材輸入の過半を占める東南アジア諸国では, 近年自国の資源保存のため, 木材輸出を制限する動きが顕在化してきている。このため民間の林業者のなかに資源の豊富な南米, アフリカ等に関心をもつものが増加している。本件はこのような背景のもとに, 将来木材輸出の増加が見込まれるガボン, カメルーン両国の森林資源状況, 投資環境等を調査し, 民間企業進出の可能性を探るものである。	54	基礎一次調査	55.2.20~55.3.8	4	6,065	
			55		(報告書作成)			1,822
2	半乾燥地域森林資源保全	(59年度)目的: 半乾燥地域において, 造林技術の改良・開発を通じ, 森林資源の保全, 有効利用を図るとともに, 企業ベースでの開発可能性を探るため, 造林技術の蓄積を図る。 概要: 現地実証調査を行う対象国を選定するための調査を実施した。 結果: 候補地としてナイジェリア及びタンザニアを選定し, 今後	59	基礎一次	60.3.27~60.4.14	7	14,030	
			60	基礎二次	60.6.27~60.7.14	6	12,165	

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		<p>両プロジェクト予定地の詳細な現地調査を実施する必要があるとの結論に達した。</p> <p>(カメルーン・ナイジェリア・タンザニア)</p> <p>(60年度)目的:半乾燥地域において、造林技術の改良・開発を通じ、森林資源の保全、有効利用を図るとともに、企業ベースでの開発可能性を探るため、造林技術の蓄積を図る。</p> <p>概要:現地実証調査を行う対象国を選定するための調査を実施した。</p> <p>結果:候補地としてナイジェリアのカドナ州アファカ地区を選定し、今後本プロジェクト予定地の詳細な現地調査を実施する必要があるとの結論を得た。</p> <p>(ナイジェリア・タンザニア)</p>					

投融資審査等調査

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	タンザニア試験事業、イラン関連施設整備事業融資調査	<p>1. タンザニア国ブグー地区で、本邦企業とタンザニア国 STAMICO とが合弁でカオリン鉱床の開発を計画している。</p> <p>現地の天候、水質、クレーの状況等の諸条件の中で良質カオリンを精製するため一年間の試験事業を計画しておりその必要性と技術的問題点を確認し融資対象としての適格性審査のための調査。</p> <p>2. イラン国ホラサン州カレ・ザリー地区における銅鉱石の採掘および選鉱事業に付随するインフラ施設整備事業資金に対する融資後調査。</p>	50	投融資審査等調査	51. 2.26 ~ 51. 3.20	3	3,284
2	ケニア、マダガスカル農業投融資審査等調査	<p>1. マダガスカル・タマタプ州における豆類栽培試験事業に係る融資後調査。</p> <p>2. ケニア・ナイロビにおける投融資説明会。</p>	52	投融資審査等調査	53. 3.14 ~ 53. 3.31	2	2,292
			53				11
3	ケニア、ザイール鉱工業投融資審査等調査	<p>1. ケニア国ナイロビにおける日系進出企業に対する投融資の説明会。</p> <p>2. ザイール国シバ州の銅鉱石開発事業に係る関連施設整備事業に対する融資後調査。</p>	52	投融資審査等調査	53. 3.15 ~ 53. 3.31	3	2,475
			53				12

#	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
4	ケニア、ザイール投融資審査等調査	本調査は、 ① ケニアにおける投融資説明会の開催等の実施。 ② ザイールにおける銅鉱石開発事業に伴う関連施設整備の融資後審査の実施。	55	投融資審査等調査	55. 9.27 ~ 55.10.13	3	4,114
5	ケニア・エジプト投融資審査等調査	内容：ケニア国およびエジプト国における投融資制度説明および案件発掘調査	58	投融資審査等調査	58. 9.18 ~ 58. 9.30	3	4,110

中近東・アフリカ一般

